

文京区地震防災マップ 〔建物倒壊危険度マップ〕

地震防災マップについて

文京区地震防災マップは、「首都直下地震等による東京の被害想定」(東京都、令和4年5月25日公表)における都心南部直下地震(品川区と大田区の境界付近を震源地とするマグニチュード7.3の地震)が発生した場合の、文京区内の「揺れやすさマップ」と「建物倒壊危険度マップ」を作成したものです。

本マップは都心南部直下地震を想定したものであり、震源や地震の規模の違いにより、実際の震度や被害とは異なることがありますのでご注意ください。

南関東地域で30年以内にマグニチュード7クラスの大規模地震が発生する確率は、70%と言われています。

日頃から防災意識を高めていただき、建物の耐震化や家具の転倒防止対策など、地震への備えにお役立てください。

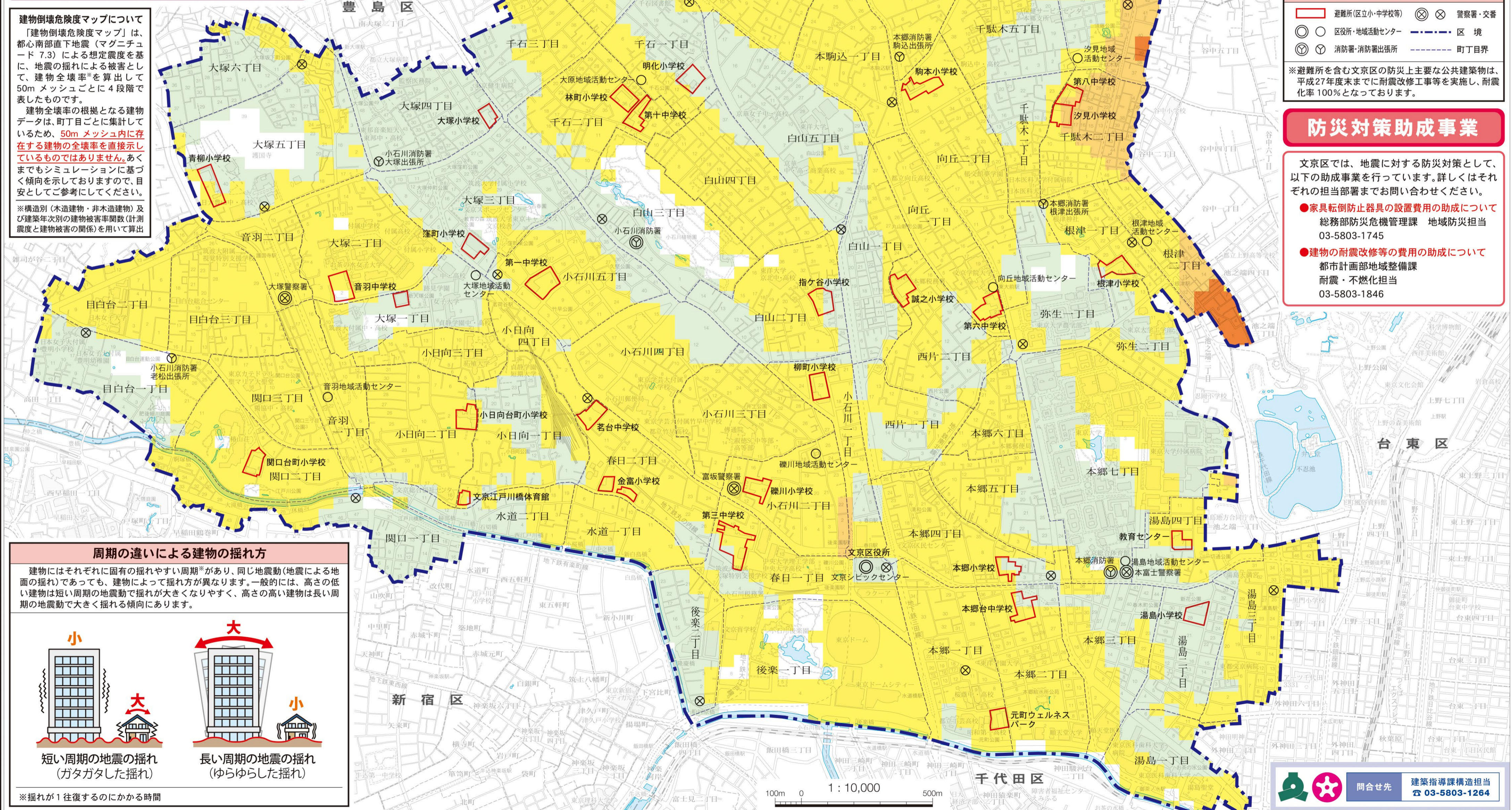
令和8年3月 文京区

建物倒壊危険度マップについて

「建物倒壊危険度マップ」は、都心南部直下地震(マグニチュード7.3)による想定震度を基に、地震の揺れによる被害として、建物全壊率*を算出して50mメッシュごとに4段階で表したものです。

建物全壊率の根拠となる建物データは、町丁目ごとに集計しているため、**50mメッシュ内に存在する建物の全壊率を直接示しているものではありません。**あくまでもシミュレーションに基づく傾向を示しておりますので、目安としてご参考になさってください。

*構造別(木造建物・非木造建物)及び建築年次別の建物被害率関数(計測震度と建物被害の関係)を用いて算出



凡例 (建物倒壊危険度)	
地域内の建物の中で全壊する建物の割合	
	10%~12%未満
	5%~10%未満
	1%~5%未満
	0%~1%未満
	建物無

その他凡例	
	避難所(区立小・中学校等)
	警察署・交番
	区役所・地域活動センター
	消防署・消防出張所
	区境
	町丁目界

※避難所を含む文京区の防災上主要な公共建築物は、平成27年度末までに耐震改修工事等を実施し、耐震化率100%となっております。

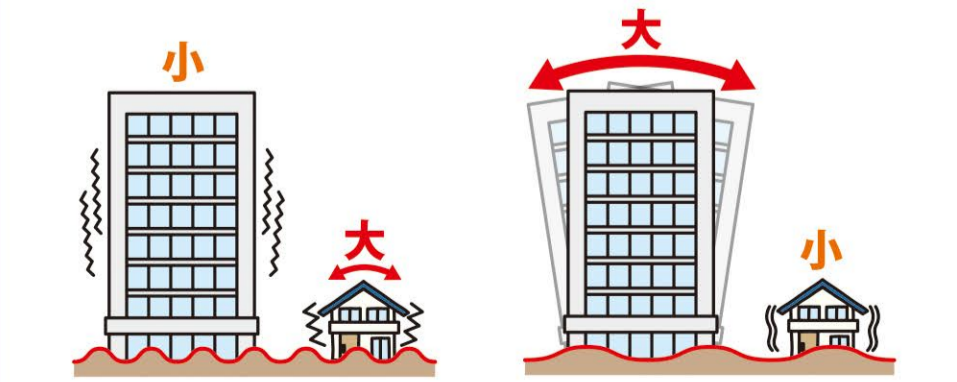
防災対策助成事業

文京区では、地震に対する防災対策として、以下の助成事業を行っています。詳しくはそれぞれの担当部署までお問い合わせください。

- 家具転倒防止器具の設置費用の助成について
総務部防災危機管理課 地域防災担当
03-5803-1745
- 建物の耐震改修等の費用の助成について
都市計画部地域整備課 耐震・不燃化担当
03-5803-1846

周期の違いによる建物の揺れ方

建物にはそれぞれに固有の揺れやすい周期*があり、同じ地震動(地震による地面の揺れ)であっても、建物によって揺れ方が異なります。一般的には、高さの低い建物は短い周期の地震動で揺れが大きくなりやすく、高さの高い建物は長い周期の地震動で大きく揺れる傾向にあります。



*揺れが1往復するのにかかる時間

問合せ先 建築指導課構造担当
☎ 03-5803-1264